

剣道部・剣友会年表

| 卒業年度 | 剣友会周年 | 剣道部の活動 | 剣友会の活動 | 歴代主幹 | 大会戦績 | 種目・成績 | 選手名 | 出来事(剣道) | 全日本選手権優勝者 | 出来事(社会) |
|---------------|-------|---|---|------|--|--|--------------|--|-----------|--|
| S25 (1960) | | 【関連記事1】 | | | | 【関連記事2】 | | | | |
| S26 (1961) | | 全国組織結成の打ち合わせの場になったのが、日光東照宮である。東照宮は戦前から剣道に力を入れており、昭和四年の武徳殿竣工以来、毎年夏に奉納武道大会を開催してきた。占領期の中断を経て昭和二十六年八月から日光大会として復活させた。そして二十七年八月十八日に全国に呼び掛けて、剣道大会を開催することにしたが、この機会に集まった全国の剣道関係者による懇談会において、全国組織の結成の相談が行われ、調整が図られた。 | | | | 戦争中軍国主義の強化に利用されたという、剣道の罪状を一応認め、しかも戦前の関係者の悪かった点に反省の意を表明し、「剣道は心を入れ替えて、新しい行き方をします」ということを明示しなければならなかった。それが剣道は体育スポーツとして出直すということであった。衝に当たって、折衝された方の苦心が偲ばれる。」(全剣) | | | | |
| S27 (1962) | | こうしてすでにこの年五月に結成されていた東京剣道連盟と三月に発足した大阪剣道連盟が、京都府、兵庫県と提携して結成された。近畿剣道連盟の両者が打ち合わせの中心となって調整案を作成、全国の剣道に呼び掛けることになった。そして東京都剣道木村篤太郎会長と近畿剣道連盟大谷一雄会長代理の連名で、十月十三、四の両日、全国各連盟に全剣道結成のための会議の招集を行った。 | | | | | | 全日本剣道連盟発足 | | ・日露平和条約調印 ・日印平和条約調印 ・アイスシュタイン死亡 |
| S28 (1963) | | 会議は東京原宿の東鉄職員会館で開かれ、昭和二十七年十月十四日全日本剣道連盟の結成が決議され、こうして戦後の新たな剣道の全国組織が誕生した。初代会長には木村篤太郎氏が就任、副会長は大空雄氏ほか三名、理事長新田宗雄氏、専務理事に庄子宗光氏、理事二名、事務局長渡辺敏雄氏などが選任された止。(全剣連50年史より抜粋) | | | | | | 社会体育としての剣道に対する制限が解除され、高校以上の学校で剣道を体育として実施してよいと通達される。同時に全日本学生剣道連盟が結成される。 | 第1回 | 榊原 正 ・イギリス エベレスト初登頂 |
| S29 (1964) | | 【関連記事3】 試合・審判規則が施行され大会が活発に行われるようになって、つぎの課題は戦前から存在していた称号・段位の扱い、また新たな制度をどのようにするかということであった。審議の結果、戦前の制度を引継ぎ、五段までの段位の上に錬士・教士・範士の称号を置くことにし、昭和二十八年三月に審査規定を施行しスタートした。そして昭和二十九年には全国で八千二百九名の初段合格者を出している。 | | | | 【関連記事5】 昭和三十七年に、全日本東西対抗剣道優勝大会の第十回を記念して、第一回女子剣道優勝大会を、わずか八人参加ではあったが開催した。その後参加剣士も増え、昭和四十六年大会から、全日本女子剣道選手権大会として行われるようになった。第二十六回大会に至って独立して行うことになる。 | | 第十回国民体育大会で剣道が正式種目となる 第一回全日本東西対抗剣道大会が開催される | 第2回 | 小西 雄一郎 ・ビキニ水爆被害事件(第5福竜丸) |
| S30 (1965) | | | | | | 【関連記事6】 全剣連は昭和四十二年十月四日に、日本武道館において、各国を招いて国際親善剣道大会を開催した。ここに集まった十ヶ国、二団体の代表による協議の結果、国際剣道連盟の結成の方向が決まり、四十五年(一九七〇)日本で第一回世界剣道選手権大会を開催することになった。この機会に国際剣道連盟が結成され初代会長に全剣連木村会長が選出された。 | | | | |
| S31 (1966) | | 【関連記事4】 昭和三十二年に至り、大きな制度の変革となる改定を行った。すなわち十段制の導入である。戦前の制度を復活して始められた称号・段位制度であるが、その後先行して占領中から始まって称号を廃止していた柔道の制度にならって、十段制を採用してはとの声が高まった。恐らく剣道、柔道が並立する、警察部内での処遇不均衡の問題が根源にあつたらう。十段制といっても、剣道の場合称号をどう扱うか、大きな問題を投げ掛けるものであった。 | | | | | | 剣道に居合道、杖道、薙刀が含まれる | 第4回 | 浅川 香男 ・日ソ共同宣言調印(ソ連国交回復) |
| S32 (1967) | | かなり伯仲した議論を重ねた上、称号・段位並存で十段制を取り入れることになり、昭和三十三年四月から実施するよう審査規則が改められた。この際、称号は「人格・技量・誠見ともに備わり、斯道の普及発展に貢献したもの」に与え、段位は「剣道に関する総合的実力に応じて与えられる」と記された。そして称号は書類選考とし、段位は七段まで実技審査、八段以上を書類審査によることとなつた。 | | | | | | 学校剣道として中学校高校で正科体育として認められる | 第5回 | 森田 信尊 ・皇太子ご成婚 |
| S33 (1968) | | | | | | | | 全日本剣道選手権大会の優勝者に天皇杯が下賜される | 第6回 | 鈴木 守治 ・原子力潜水艦ノーチラス号北極潜水横断に成功 |
| S34 (1969) | | | | | | | | | 第7回 | 中村 太郎 ・ソ連 月の裏側撮影に成功 |
| S35 (1970) | | | | | | | | 第一回全国教職員剣道大会が開催される | 第8回 | 桑原 哲明 ・総理大臣：池田勇人 |
| S36 (1961) | | 戦後、剣道部を創設。川原道場で30名で始発弘明寺の小学校へ防具を受け取りに行。道場の設置。 | 3/10剣友の集い 1回生~18回生まで31名出席 | 美馬三三 | 関東甲信越大学体育大会 | 全敗 | | 5月 全日本学校剣道連盟結成 | 第9回 | 伊保 清次 ・ソ連 有人宇宙飛行に成功 |
| S37 (1962) | | | | 清野専人 | | | | 剣道が中学校で正科選択必修として実施される | 第10回 | 戸田 忠男 ・三河島駅二重衝突事故 |
| S38 (1963) | | | | 福田正夫 | | | | 剣道が高校で正科選択必修として実施される | 第11回 | 矢野 太郎 ・ケネディー暗殺 ・新千田乳飛行 |
| S39 (1964) | | | | 石野三正 | | | | 第十八回オリンピック東京大会において、新設の日本武道館にて剣道、弓道、相撲がデモンストレーションとして行われた | 第12回 | 戸田 忠男 ・東海道新幹線開通 ・東京オリンピック ・日韓国交回復 |
| S40 (1965) | | | 5年ぶりに剣友が集まる。2回生~20回生。25名参加 剣友会年1回の食会に(金費500円) | 福井 栄 | | | | 第一回全日本居合道大会が開催される | 第13回 | 西山 泰弘 ・シンザン5冠馬 |
| S41 (1966) | 発足 | | 剣友会創設 徳山金一先生部長就任 初代剣友会会長 菅 要助先輩が就任 初代剣友会副会長 矢田四郎先輩が就任 | 田中正重 | | | | | 第14回 | 千葉 仁 ・ザ・ビートルズ来日 |
| S42 (1967) | 1周年 | 年間5回の大会に参加(対市大定期戦・春季神奈川大学新人戦・関東甲信越大会・対市大定期戦・秋季神奈川大学対抗戦) また、4回分の合宿(5月 横浜市内の道場・夏季 長野方面の合宿・秋季 前期試験後の合宿・春 鎌倉霊雲院) 早稲の幕府古も実施(富士会報昭和42年より) | 富士会報に卒業した剣友からの連絡を求める投稿記事(天野光俊記) | 秋田雅正 | 春季神奈川大学新人戦(京海大・神奈川大・防大・関東学院大・横浜国立大・横浜国立大) 二勝三敗 四位 対市大定期戦(横浜市大体育館) 同大8-7市大 | 二段の確保 二段以上の部 三位 | 戸田知 榊方正之助 | 10月4日 国際親善剣道大会開催(日本武道館、【関連記事6】参照) 11月 全日本女子学生剣道選手権大会開催 | 第15回 | 堀田 国弘 ・小笠原諸島遠征 ・GNP世界二位 ・ミニスカート流行 |
| S43 (1968) | 2周年 | | 5/25剣友会第二回食会(弘明寺体育館) 寄付金で学生会館を寄贈。 | 中村廉一 | 第14回神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人優勝 | 榊方正之助 | 7月21日 明治100年記念剣道大会開催 | 第16回 | 山崎 正平 ・原子力潜水艦エンタープライズ入港 |
| S44 (1969) | 3周年 | | | 北島長雄 | | | | | 第17回 | 千葉 仁 ・人類初の月面着陸 |

剣道部・剣友会年表

| 卒業年度 | 剣友会周年 | 剣道部の活動 | 剣友会の活動 | 歴代主将 | 大会戦績 | 種目・成績 | 選手名 | 出来事(剣道) | 全日本選手権優勝者 | 出来事(社会) |
|---------------|-------|--|--|-------|--|---------------------------|----------------------------|---|------------|--|
| S45 (1970) | 4周年 | | | | 神奈川県七大学戦 団体戦第五位 | | | 国際剣道連盟設立、第一回世界剣道選手権大会東京大会(団体)大阪大会(個人)が開催される。 | 第18回 中村 毅 | ・万博 |
| S46 (1971) | 5周年 | 四年生が夏休みまで現役を継続 剣道部の部員増加 女子部員11名に | 5/22 弘明寺体育館 剣道部O・B会(毎年5月の土曜日に定着。)O・B対現役の試合を実施。 剣友会名簿完成 | 龍原成実 | 神奈川県七大学戦 団体戦第四位 第22回関東甲信越大学体育大会 男子団体優勝 第22回関東甲信越大学体育大会 女子団体優勝 | | | | 第19回 川添 哲夫 | ・沖繩返還協定調印 |
| S47 (1972) | 6周年 | | 6/10 OB会(弘明寺体育館) | 佐伯 博 | 春華神奈川県七大学戦 | 男子団体第六位 | | 2月15日 『全剣道広報』創刊 | 第20回 千葉 仁 | ・総理大臣:田中角栄 ・沖繩返還 ・日中国交回復 ・冬季オリンピック札幌大会 |
| S48 (1973) | 7周年 | コーチとして片山6段、その後村山7段を迎える。 | 6/23 OB会(弘明寺体育館) | 渋谷英樹 | 春華神奈川県七大学戦 | 男子団体第三位 | | 第二回世界剣道選手権大会がアメリカ・ロスアンゼルスで開催される | 第21回 山田 博徳 | ・変動相場制導入 ・第一次オイルショック |
| S49 (1974) | 8周年 | 神奈川県学生剣道大会が八大学となり二部制となる。入れ替え戦で神奈川県大学と対戦も、敗れBリーグ止まり。 | | 榎本昌己 | | | | 3月2日 財団法人木村篤太郎財団。前最高裁判所長菅石田和外選任 10月28日 財団法人全日本剣道連盟設立 | 第22回 横尾 英治 | ・エネルギー危機、TV放送短縮 ・ベトナム戦争終結 |
| S50 (1975) | 9周年 | 神奈川県学生剣道大会 防衛大学との入れ替え戦に勝利し、一掃リーグ昇格 | | 田島佳夫 | 神奈川県四者対抗 | 優秀選手 | 鹿岡健彦 | 『剣道の理念』『剣道修練の心構え』が制定される | 第23回 川添 哲夫 | ・総理大臣:三木 ・沖繩海軍基地 |
| S51 (1976) | 10周年 | | 6/8 OB会 神奈川県大会の審判(天野先達・精方先達2名)OBから審判を寄贈する | 南 圭一 | 神奈川県学生剣道大会 | Bリーグ優勝 | | 4月17・18日 第3回世界選手権大会(英国) 7月5日 財団法人全日本剣道連盟設立 12月6日 『幼少年剣道指導要領』承認 | 第24回 中村幸次郎 | ・モントリオールオリンピック ・ロッキード事件発生 |
| S52 (1977) | 11周年 | 常盤台に経済・経営・教育学部が専攻。工学部が弘明寺のため土曜日のみの合同稽古。部員82名。大学剣道関東大会で神奈川県大学で唯一 全日本学生への出場権を獲得。 | 6/4 常盤台キャンパスに道場が新設 初めて OB会を開催 剣友会から太鼓が寄贈される | 浅野 宏 | 第25回全日本学生剣道優勝大会出場 | 男子団体 | 浅野・森田・菊池・榎野・広兼・松崎・田中・本原・橋口 | 4月22日 選抜協議委員会 9月11日 第1回全日本少年武道(剣道)録成大会開催 | 第25回 小川 功 | ・総理大臣:福田 ・200海里法施行 |
| S53 (1978) | 12周年 | 関東甲信越大学体育大会を横浜で開催(剣道は全日本主催) | 6/24 OB会 | 榎野幸一 | 第27回関東甲信越大学体育大会 神奈川県学生剣道大会 | 女子団体優勝 二部優勝 | | 2月9日 国会議員による武道議員連盟結成 | 第26回 石橋 正久 | ・王ホームラン世界記録 ・成田空港開港 |
| S54 (1979) | 13周年 | 部員69名(女子17名) | 旧高専剣道大会 日本建築体育館 天野先達出場 6/23 OB会 | 田中不二夫 | 神奈川県学生剣道大会 | 女子個人準優勝 | 山下由紀重 | 1月5～7日 第1回大ホーク少年剣道交流大会 5月9日 石田和外会長急逝 6月19日 | 第27回 末野 久二 | ・総理大臣:大平 ・東京サミット |
| S55 (1980) | 14周年 | 神奈川県学生剣道大会 幹事校として開催 神奈川県 基調知事から授賞状が届く | 慶原重督就任 | | 第26回春華神奈川県学生剣道選手権大会 第20回関東甲信越大学体育大会 第20回秋華神奈川県学生剣道大会 | 個人優勝 個人戦準優勝 男子団体第二位 | 幾 信人 山本悦 | 12月8日 科学委員会設置決定 | 第28回 戸山 光利 | ・総理大臣:鈴木 ・日中平和友好条約調印 |
| S56 (1981) | 15周年 | 公式戦には学生服着用 | 6/25 OB会 香山金一剣道部長 天野先達への感謝状贈呈。新組織体へ 山口幹事長 天野副幹事長 石野・宮部幹事 渋谷・広兼会計 慶原・種子島・南学生指導 田島審判幹事 瀬口剣友会幹事 | 田中和典 | 第30回関東甲信越大学体育大会 | 個人優勝 | 枝道大成 | | 第29回 中田 瑋士 | ・国家公務員の週休2日制導入 |
| S57 (1982) | 16周年 | 第27回秋華神奈川県学生剣道大会で全敗 2部リーグ落ち | | 福島圭輔 | 第15回全日本女子学生剣道優勝大会出場 第27回春華神奈川県学生剣道大会 第30回全日本学生剣道優勝大会出場 | 女子個人 男子団体第二位 男子団体 | 出沢美子 | 6月20日 創立30周年「三十年史」出版 9月31日 第6回世界剣道選手権大会(ブラジル) 9月8日 名誉会長木村篤太郎逝去 | 第30回 石田 健一 | ・東北・上越新幹線開通 |
| S58 (1983) | 17周年 | | 『横浜国立大学剣友会 会則』を整備し、剣友会名簿表紙裏面に掲載する。 | 枝道大成 | | | | 6月23日 庄子宗光会長に就任、河合英晴名誉会長へ。 11月4日 次年度から剣道4地区地方審査会を増加することを決定 | 第31回 東 一良 | ・総理大臣:中曽根 ・東京ディズニーランド開園 ・金融機関第2土曜日休日 |
| S59 (1984) | 18周年 | | | 小沢勝也 | | | | 全日本剣道選手権大会の出場資格を六段以上に制限、勝負に判定を取り入れる | 第32回 原田 哲夫 | ・グリーク・森永事件発生 ・ロスアンゼルスオリンピック |
| S60 (1985) | 19周年 | | 6/29 OB会 OB会から防具置きのを寄贈 | 竹田泰郎 | 第30回秋華神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人優勝 | 小日山 明 | 日本剣道形審査上の着眼点を決定 4月13・14日 第6回世界剣道選手権大会(パリ) 6月26日 全剣道会長に大島功就任 『日本剣道形審査上の着眼点等』を決定 | 第33回 石塚 美文 | ・つくば科学万博開催 ・日航機御巣鷹山墜落 |
| S61 (1986) | 20周年 | | 6/8 OB会 剣友会創設二十周年 審査員の20年の功績に感謝状を贈呈。学生へビデオ一式(大学卒70万・高専・高工卒30万返付) 神奈川県大学剣道連盟 三十周年にあたり大会に際して神山金一 剣道部長 天野八郎 先輩に感謝状と記念品が贈られた。 石川重督就任 | 渡辺良樹 | 第31回秋華神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人三位 | 今井浩 | 試合規則一部改定 | 第34回 岩堀 透 | ・チェルノブイリ原発事故 |
| S62 (1987) | 21周年 | | | 小日山 明 | | | | 改訂『剣道試合・審判規則』を制定、全剣道広報の月刊化(後の『剣窓』) | 第35回 西川 清紀 | 国鉄民営化 |
| S63 (1988) | 22周年 | 関東甲信越体育大会を横浜で開催(剣道は全日本主催)、神山直哉先生就任 | 12/9 0時31分 警視庁発表 永根二俊百会長 山口 健太郎先輩 2代目副会長 大塚茂雄先輩 | 川村良児 | 第22回全日本女子学生剣道選手権大会出場 第33回秋華神奈川県学生剣道選手権大会 | 女子個人 女子個人優勝 | 森崎仁美 森崎仁美 | 5月7日 六段審査より受付・審査を年齢別に2部に分けて行うシステムを採用。 5月28・29日 第7回世界剣道選手権大会(韓国) | 第36回 林 朗 | ・総理大臣:竹下 ・ソウルオリンピック |
| H元 (1989) | 23周年 | | 6/17 OB会 大学会館での学生との交流会 | 大山武郎 | 第37回全日本学生剣道選手権大会出場 | 男子個人 | 山口敬介 | 『称号審査規定』『段位審査規定』改訂、昇段のための修業期間が延長(2段へは1年に戻す)、七段審査の時間が1分から1分半に延長、全日本選手権出場枠を64名に増やす | 第37回 西川 清紀 | ・昭和天皇崩御、平成に元(1月7日) ・消費税導入(3%) ・総理大臣:宇野 ・総理大臣:海部 ・中国天安門事件 |

| 卒業年度 | 剣友会周年 | 剣道部の活動 | 剣友会の活動 | 歴代主幹 | 大会実績 | 種目・成績 | 選手名 | 出来事(剣道) | 全日本選手権優勝者 | 出来事(社会) |
|---------------|-------|--|---|-------|--|--------------------------------|---|---|------------|---|
| H2 (1990) | 24周年 | | 6/16 OB会 横山金一前部長へ記念品として手刺刺古着と袴を贈呈。 | 山口敬介 | 第38回全日本学生剣道選手権大会出場 第24回全日本女子学生剣道選手権大会出場 | 男子団体 女子個人 | 山口・木村・石野・松原・黒本・有竹・青木・鹿丸・嶋尾 伊藤純子 | 1月19日 全日本剣道選手権大会の出場資格を五段以上に緩和 6月29-30日 第3回世界剣道選手権大会(カナダ) | 第38回 宮崎 正裕 | ・ベルリンの壁崩壊、東西ドイツ統一 |
| H3 (1991) | 25周年 | 関東学生剣道連盟の選抜選手として有竹主幹が海外選任メンバーとなる | 6/15 OB会 | 有竹 剛 | 第39回全日本学生剣道選手権大会出場 | 男子個人 | 高橋輔太郎 | 「段位審査規定」改訂(八段の2次審査員14名、75歳以下の撤廃、形審査実施)、神奈川県代表宮崎正裕選手が全日本剣道選手権大会で大会史上初の2連覇達成 | 第39回 宮崎 正裕 | ・雲仙普賢岳噴火 ・海軍戦術発表 ・ソ連崩壊 |
| H4 (1992) | 26周年 | 公式行事にはプレーザー着用 | 6/20 OB会 山口輔太郎会長 石野幹事長が選任 後任として天野八郎会長 秋田幹事長が就任 | 藤本賢二 | | | | 5月3日 第四十回京都大会を改め、第八十八回全日本剣道演武大会とした 5月17日 八段審査会名古屋で開催 12月23日 「全剣道四十年史」(剣道界と全剣連のあゆみ-この10年)を出版 | 第40回 石田 利也 | ・総理大臣:宮沢 ・バハロロナオリンピック ・新幹線のぞみ、山形新幹線開通 |
| H5 (1993) | 27周年 | | 6/19 OB会 | 横尾徳之 | | | | 6月7日 大島功全剣連会長逝去 6月22日 歌山二郎剣連会長に就任 11月1日 七段以上の高段者名簿初めて発行 11月3日 第41回全日本選手権大会、決勝は宮崎(神奈川)兄弟対決 | 第41回 宮崎 正裕 | ・総理大臣:細川 ・リーグ開幕 ・皇太子ご成婚 |
| H6 (1994) | 28周年 | 関東学生剣道連盟の選抜選手として高橋主幹が海外選任メンバーとなる | | 高橋輔太郎 | 第39回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 第43回関東甲信越大学体育大会 個人優勝 女子団体優勝 | 団体優勝 団体優勝 個人優勝 女子団体優勝 | 高橋・秋山・山田・田村・谷田・井上・太田・成田・加藤 高橋・秋山・山田・高砂・井上・菊池・太田・真田・加藤 高橋輔太郎 横山・遠藤・斉藤・荒川・岩澤 | 剣道社会体育指導員認定制度が文部省に認可される 4月9-10日 第9回世界選手権大会(バリ) 11月20日 八段審査東京でも実施 | 第42回 西川 清紀 | ・総理大臣:羽田 ・総理大臣:村山 ・アジア発の女性宇宙飛行士誕生 |
| H7 (1995) | 29周年 | 剣道部創設以来の全日本学生2回連続出場 関東学生剣道連盟の選抜選手として井上副主幹が海外選任メンバーとなる | 有竹重督就任 6/3 OB会 31名の卒業生が精古に参加 | 高砂 大 | 第40回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 第43回全日本学生剣道選手権大会出場 | 準優勝 男子団体 | 菊池一紀 高砂・井上・菊池・太田・牧野・川崎・角・横山・安部 | 剣道八段資格の年齢制限の48歳以上を46歳以上に改訂。全日本女子剣道選手権大会の出場資格を18歳以上(年度内年齢)、全日本剣道選手権大会の出場資格を20歳以上とし、段位制限を撤廃 | 第43回 石田 利也 | ・阪神淡路大震災 ・地下鉄サリン事件 |
| H8 (1996) | 30周年 | 神奈川県学生剣道連盟幹事役 | 6/22 OB会 29名の卒業生が精古に参加 | 大田 剛 | | | | 全日本剣道選手権大会を天皇皇后両陛下がご観戦、優勝者(宮崎正裕)に天皇杯が授けられる(4度目の優勝) | 第44回 宮崎 正裕 | ・総理大臣:橋本龍太郎 ・アトランタオリンピック ・海軍エース脱走 |
| H9 (1997) | 31周年 | E-MAILでの日報運営をはじめ、関東学生剣道連盟の選抜選手として横山副主幹が海外選任メンバーとなる | 高本篤先輩がNHKドキュメント「二〇秒の瞬間」に出演！！ 6/28 OB会 34名の卒業生が精古に参加 | 角 重太郎 | 第42回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 第42回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人準優勝 個人三位 | 角 重太郎 横山貴史 | 第十回世界剣道選手権大会が京都で開催される。 第三十六回全日本女子剣道選手権大会の優勝者(大塚真由美)に皇后の皇后杯が授けられた。 2月27-30日 第10回世界選手権大会(京都) | 第45回 宮崎 文裕 | ・消費税5% ・香港中国へ変換 |
| H10 (1998) | 32周年 | 関東学生剣道連盟の選抜選手として安部主幹が海外選任メンバーとなる | (実質的には32年目だが) 6/27 OB会 剣友会創設三十周年 岸根公樹創立武道館で精古会を開催 総勢64名、海外選任の安部主幹に袴古着・袴を贈呈。宮本先輩・山口先輩に感謝状を贈呈。 特別剣友会高志川ロベト先輩が贈呈されるにあたりOB会 | 安部博文 | 第43回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人優勝 | 安部博文 | 11月2日 ・全剣連ホームページ発足 ・「竹刀及び剣道具規格」成案を得る | 第46回 宮崎 正裕 | ・総理大臣:小淵恵彦 ・長野冬季オリンピック ・山一證券破綻 |
| H11 (1999) | 33周年 | 関東甲信越国立大学剣道大会幹事役 | 木村重督就任 宮本篤先輩博士号受称 6/28 OB会 | 喜納祐介 | | | | 剣道称号・段位制度改定、剣道称号・段位審査規則および細則・実施要領決定(形審査不合格者の再審査制)、国士館大学にて剣道部員の傷害致死事件発生、剣道部解散 | 第47回 宮崎 正裕 | ・金融再編進行 |
| H12 (2000) | 34周年 | 剣道部ホームページ立ち上げ 剣道場修復 | 6/24 OB会 OB会から川津主幹に袴を贈呈 | 川津大輔 | 第48回全日本学生剣道選手権大会出場 第48回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 男子個人 個人三位 | 川津大輔 中原貴之 | | 第48回 米花 直輝 | ・総理大臣:森 ・シドニーオリンピック ・有珠山噴火 |
| H13 (2001) | 35周年 | 準学舎宿開始 | 6/23 OB会 | 大塚 学 | 第40回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 女子団体三位 | 横田・日向・外島 | 全日本剣道演武大会の出場資格を6段以上称号受有者とする、七段審査を名古屋で実施 | 第49回 岩佐 英範 | ・総理大臣:小泉純一郎 ・米国同時多発テロ |
| H14 (2002) | 36周年 | | 6/8 OB会 三十五周年を記念して弘明寺の横浜国立大学 佐藤亨定 | 佐藤亨定 | | | | 規則改定「八段一次の審査員を6名とし4名の同意で合格、六七段形審査を別立ての三審査員で実施 | 第50回 安藤 戒牛 | ・アフガン戦争 ・サッカーワールドカップ日韓共同開催 |
| H15 (2003) | 36周年 | 神奈川県学生剣道連盟幹事役 | 6/28 OB会 36周年記念事業として36年記念館を鶴巻スタ | 中原貴之 | | | | 四段～七段、鎌土の審査員を6名とし4名の同意で合格とし、剣道称号・段位審査規則改定、「日本剣道形解説書」完成、解釈の統一実施 | 第51回 近本 巧 | ・イラク戦争勃発 ・SARS流行 |
| H16 (2004) | 37周年 | | 6/28 OB会 約1年越しの編集作業を統一解率に記念館、横砂宏紀 | 横砂宏紀 | | | | ・初段取得者数が、2年前に年間5万人台を回復。 ・267団体1少年剣道教育奨励賞を贈呈 ・全日本剣道演武大会が明後28年以來第100回を迎える ・全剣連ホームページのリニューアル成る | 第52回 鈴木 剛 | ・新潟中越地震 ・スマトラ沖大地震・大津波 ・アテネオリンピック |
| H17 (2005) | 38周年 | | 香港国際招待試合にて剣友会チームが3位入賞(山H10) 中川(H11) 山田(H11) 大塚(H13) 6/25 OB会 40周年の記念館に向けた準備をスタート | 横山和夫 | 第50回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人優勝 | 米倉 文憲 | ・剣道八段審査に過去最多の1300人を越す。合格者12名。7段審査は2581名と前年度越す。 ・5月団体が岡山県四種目完全優勝。 ・8月31日要知万博で剣道フェスティバルを開催。 ・東西対抗剣道大会を三十八年ぶりに鹿児島で開催。心技とも充実した試合に終結した。 | 第53回 原田 悟 | ・鳥インフルエンザ発生による鳥多量処分 ・選挙制度改革決断事件発表 ・フレンチカナド偽造事件 ・ネット詐欺巧妙化 |
| H18 (2006) | 39周年 | | 6/24 OB会 大塚重督就任 秋田副会長が就任 40周年記念委員会設立を開始し、100人以上の規模で総会を開催するべく会場準備をスタート。大学関係者への招待をはじめ精古会での剣道部演武を企画。 | 斎藤 慶一 | | | | 平成19年3月31日時点での剣道有段者登録数は、1,429,718人(内、女子は401,121人) 12月に第13回世界剣道選手権大会を台湾で開催。44か国参加。女子個人、男子個人は、日本が連続優勝。男子団体戦、日本は、準決勝で米国に敗れ3位、韓国初優勝。 | 第54回 内村 良一 | ・小泉から安倍首相へ、造反議員戻る ・イナバウアー-荒川静香トリノ五輪で金 ・WBCエジパハンが世界の頂点に ・梅毒 前置薬強度換装事件 |

剣道部・剣友会年表

| 卒業年度 | 剣友会周年 | 剣道部の活動 | 剣友会の活動 | 歴代主宰 | 大会戦績 | 種目・成績 | 選手名 | 出来事(剣道) | 全日本選手権優勝者 | 出来事(社会) | | |
|---------------|-------|--|--|--------|--|--------------------------|--|---|--|--|--|--|
| H18 (2007) | 40周年 | 女子部員が4名入部し、H9年以來の5名での団体参加となる。(春季神奈川) 40周年記念の学生奨励会により部室内に書物等を設置する。(男女部室) | 2007年6月23日 剣友会創立40周年記念総会を開催 記念 成瀬 隆太 | | 第53回関東学生剣道選手権大会 第56回全日本学生剣道選手権大会出場 第52回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | ベスト82 男子個人 女子個人 三位 | 米倉 文彦 米倉 文彦 佐藤 橋子 | 第55回 | 寺本 将司 | ・安部から福田首相へ ・原油高騰がソリン150円/L突入 ・スポーツ界に王子選手(野球・ゴルフ・テニスなど) ・輸入中国産品に多数の農産業者で輸入禁止騒動 | | |
| H20 (2008) | 41周年 | 神奈川県学生剣道連盟幹事会 今年度から組織変更され、学生幹事会の上位組織として卒業生幹事会を設置し、この卒業生幹事会が最高議決権を有することとなった。初代幹事長は有竹先業が就任 | 2008年3月21日 山口 龍太郎元会長 永堀 2008年6月14日(土)第34回旧高専剣道大会 個人準優勝 横山金一先生 2008年6月28日 OB総会 OB総会の運営基準に「ライフ」シーンを導入。(個人準優勝法対して) 剣友会組織の拡大に伴い規約の大幅改定に着手。従来活動を継続的に増進化する目的。2009年総会で提案予定規定改定に賛同し、一部組織整備を実施。会計室室役導入を決定。会計幹事と室室役幹事の分権が目的。 | 米倉 文彦 | 第59回 春季神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人準優勝 | 川村 友希 | ・教育改革の一環として中学校の体育科目に武道が必修として行われる方針が決定した。 ・全日本実業団剣道大会で三井住友海上が優勝 | 第56回 | 正代 賢司 | ・福田から麻生首相へ ・衆議院では、度重なる首相交代と支持率の低下で解散総選挙の騒動となる。 ・北京オリンピック開催 ・アメリカの金融危機に爆発した、世界的経済の混乱。後に、「リーマンショック」、100年に一度の世界不況と認識される。 ・国内でも急激な円高で一時1\$90円に、また原油価格の急落で、80円/L下落し、100円台となる。 | |
| H21 (2009) | 42周年 | 体育館の耐震補強工事により、4月から9月まで道場が使用できない状況と成る。県土分各中継や神奈川地区スポーツセンターで練習場所を確保するという旨で、関東甲信越体育大会で 剣道大会が開催。開催 | 2009年6月27日 OB総会を開催 大学体育館が耐震工事に伴い使用できない為、慶原幹事長の取計らいで新形田にあるH(石川島播磨重工業)横浜事業所内にある体育館でOB総会を実施。 慶生副会長が9年間の在任期間を満了して勇退され、宮部幹事が副会長に就任した。 剣友会の規約を大幅に改定し、改定前の7条立てから20条および7項の付帯から成る内容へ再編成。改定した主旨は、①組織体制の明確化 ②総会/幹事会の議決権の明確化 ③会員の組織維持と推進する目的で、専断を禁止化 ④その他会費の使用目的や各種奨励会費の金額を明文化。 第20回学生剣道大会に初めて2チーム出場をはたす。東京選抜選手 【チーム構成】 先鋒 次鋒 五鋒 中堅 三鋒 副将 大将 1 佐藤(男) 中原 大塚 安部 高橋(雄)岩城 桐野 2 大谷 日下 杉野 山田(浩)神山 宮里 小沢(孝) | 関村 智洋 | | | | | 平成21年3月31日時点での剣道有段者登録者数が公表され、1,546,503人(内女子は436,588人)。 全日本実業団剣道大会でJR東日本リテールネットが優勝 | 第57回 | 内村 良一 | ・麻生から民主党政権菅首相へ政権交代 ・日川道がプロレス界若手若少年賞五となる。 ・ハンク・ワーナーを季オリンピック開催(2010年冬) |
| H22 (2010) | 43周年 | H22第55回 秋学神奈川県学生剣道選手権大会 個人準優勝 二宮龍太郎 個人準優勝 川村友希 男子団体戦 第三位 女子団体戦 第三位 全部門での入賞は過去最大。 | 2010年6月28日 OB総会を開催 大学の耐震補強工事が完了し年ごりの大会開催となった。 12月3日 第21回東京学生剣道大会 (先鋒)米倉先業 (次鋒)佐藤(男)先業 (三鋒)杉野先業 (中堅)神山先業 (三鋒)有竹先業 (副将)小沢先業 (大将)桐野先業 | 茂原 康隆 | 第55回 秋学神奈川県学生剣道選手権大会 第55回 秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人準優勝 個人準優勝 | 二宮龍太郎 川村 友希 | 4月29日第58回全日本都道府県対抗剣道優勝大会で東京が優勝。 9月20日第53回全日本実業団剣道大会でパナソニック電工本社が優勝 | 第58回 | 高橋 進 | ・山崎から菅総理大臣へ ・民主党内部の問題山積で支持率低下 ・サッカーワールドカップ南アフリカ大会で日本がベスト16 | |
| H23 (2011) | 44周年 | H23年新体制 主宰 成瀬 界(主宰) 長谷川 誠(副主宰) 藤田 寛(監督) 丸尾 信隆(副監督) 川村 友希(女子主宰) H23年第58回春季神奈川県学生剣道選手権大会 女子団体第三位 9月17日(土)第19回関東女子学生剣道優勝大会(於:東京武蔵野)にて女子団体が創部史上初の全日本女子学生剣道優勝大会への出場を決めました。 (1回戦:群馬大学 2回戦:筑波大学 3回戦:順天大学 4回戦:国府武蔵大学(優勝チーム)) 全日本女子学生剣道大会では、1回戦順天大学と対戦し惜敗 | 2011年4月3日 昭和17 高南幸 天野 八郎(名誉会長)逝去。(享年89歳) 横浜市北部定海橋駅で行われた葬儀に多数の卒業生が参加し、各別式に休むが如く。 2011年6月28日 OB総会を開催。慶原幹事長が勇退。2009年から6年間にわたり剣友会の指導者だった。宮部幹事が就任し、連年の45周年に向けた新体制でスタートする。 卒業生幹事に2名新任される。平成9年卒業生先業 平成21年相田先業 2011年 学生夏合宿に初めて 宮部幹事・秋田副会長・慶原幹事長の3氏が参加。 2011年10月 全日本女子学生剣道優勝大会出場支援のため寄付事業を実施。遠征の交通費・宿泊費を支援。 | 安達 界 | 第37回 関東女子学生剣道優勝大会 第30回全日本女子学生剣道優勝大会 | 女子団体ベスト16 女子団体 | 4年川村 3年小笠原 2年倉田、原、村松 1年小泉 4年川村 3年小笠原 2年倉田、原、村松 1年小泉 | 平成23年 高橋道 鎌土六段 神奈川県 神奈川県警察 35才が1999年の宮崎正裕に続いて歴代2目の日本選手権連覇 | 第59回 | 高橋 進 | ・9月11日マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生。三陸沖を中心に太平洋の被害が拡大し福島では福島第一原子力発電所から放射性物質の漏洩事故が発生。 ・10月19日にインド洋で発生したサイクロン(Cyclone) North Indian Ocean cyclone season Deep Depression BOB 04)がベンガル湾からミャンマーとバングラデシュの国境地域に上陸。35,000人が被災するなど大きな被害を出した。現地に進出している日本企業の工場などが大被害を受け、震災から回復基調にあった部品サプライチェーンが再び混乱した。 | |
| H24 (2012) | 45周年 | <関東甲信越体育大会> 9月28~29日 両日 群馬県後援市 ぐんま武道館で開催され、男子団体が準優勝しました。 予選:筑波大学・山梨大学・群馬文化大学・群馬大学 4校全勝で下し、決勝リーグは宇都宮大学に4-1で勝利、筑波大学との最終決戦で1-0の本塁打を放ち、優勝(一回戦 シード、二回戦 対神奈川大学 3-1 三回戦 対東海大学 0-5、敗者復活戦 対専修大学 1-5) 2012年11月27日 剣道八段審判において岸川口ベルト先業(平成4年(大初)学生入部)が最長会歴を樹立した。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。 | 2012年3月9日~10日宮部幹事・秋田副会長・慶原幹事長が昨年の夏合宿に引き続き同大会合宿に参加。 6月11日 OB幹事会メンバーで合宿を実施。(山中 雅 マラマテロッチ) 6月23日 45周年記念総会を開催。開催場所は 慶原幹事会 学生・卒業生合計で100名が参加。 秋田副会長が勇退(在任6年)(H4年幹事長 H18年副会長の経験となり引退)。個人競技山積でベスト16、原がベスト8、小泉がベスト16です。 2012年5月25日~26日 OB幹事会メンバーで第2回合宿を実施。(山中 雅 マラマテロッチ) 参加者は宮部幹事・慶原副会長・南副会長・桐野幹事・岩城幹事・石川幹事・小沢幹事・神山幹事・中川幹事・大谷幹事 6月22日 46周年記念総会を開催。開催場所は 横浜スカイビル大ホール 学生・卒業生合計で60名が参加。 2013年11月27日 剣道八段審判において岸川口ベルト先業(平成4年(大初)学生入部)が最長会歴を樹立した。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。 | 二宮 龍太郎 | 第61回 関東甲信越体育大会 | 団体準優勝 | 二宮・成瀬・西本・山崎・毛綱・尾間・桐野・崎守・園智 | 全日本剣道選手権大会で、大阪府警六段木和田剣士が優勝 第62回日本スポーツ賞にて木和田大起選手が2012年競技団体別最優秀賞を受賞 全日本実業団剣道大会にてパナソニック(ES本社)が優勝 | 第60回 | 木和田大起 | ・世界一の高さ東京スカイツリー竣工 ・前半は記録的な円高となるも、12月16日の総選挙で自民党が勝利し、内閣 福田康平 ・ロンドンオリンピック開催 ・京都大学の山中伸弥医学博士が、iPS細胞でノーベル生理学・医学賞を受賞 | |
| H25 (2013) | 46周年 | 元菅原 藤山哲弘先生(敬士八段)に夏合宿で2指導者頂く。 関東学生剣道優勝大会で、2度の全日本学生・統一大会が、信原(一回戦 シード、二回戦 対神奈川大学 3-1 三回戦 対東海大学 0-5、敗者復活戦 対専修大学 1-5) 2013年11月27日 剣道八段審判において岸川口ベルト先業(平成4年(大初)学生入部)が最長会歴を樹立した。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。 | 5月25~26日 OB幹事会メンバーで第2回合宿を実施。(山中 雅 マラマテロッチ) 参加者は宮部幹事・慶原副会長・南副会長・桐野幹事・岩城幹事・石川幹事・小沢幹事・神山幹事・中川幹事・大谷幹事 6月22日 46周年記念総会を開催。開催場所は 横浜スカイビル大ホール 学生・卒業生合計で60名が参加。 2013年11月27日 剣道八段審判において岸川口ベルト先業(平成4年(大初)学生入部)が最長会歴を樹立した。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。 | 吉岡 剣介 | 第58回 秋学神奈川県学生剣道選手権大会 | 男子個人 第三位 | 清水 裕 | 2013年の第61回全日本剣道選手権大会は、内村良一選手の優勝となりました。 ・第54回、第57回、第61回と度目の優勝となりました。 ・国際剣道の国際競技団体連合への加盟 ・全日本東西対抗剣道大会のような大規模な試合は10分としました。(平成17年)、全日本剣道選手権大会も準々決勝戦以後は、これに倣いました。また東西対抗大会は引き分けをなくし、勝負が付くまで行うこととなった | 第61回 | 内村 良一 | ・2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックが東京に決定されました。 ・政府の「公益法人の改革」の方策に応じて、全剣連はこれまでの財団法人から、新制度の「一般財団法人」にも選ばれた。 ・スペイン・バレーボール ・夏は関東豪雨で鬼怒川堤防決壊。冬は大雪となり鹿児島でも雪を観測した。 | |
| H28 (2014) | 47周年 | 第63回関東甲信越大会剣道競技で男子団体戦が準優勝となり、男子個人戦では毛綱康三が 優勝、山崎裕徳が準優勝となり、毛綱康三、崎守がベスト8に入賞するなど6人中4人がベスト8がベスト | 6月21日 47周年記念総会を開催。開催場所は横浜スカイビル大ホール | 山城 裕徳 | 第63回 関東甲信越大学体育大会 第63回 関東甲信越大学体育大会 第63回 関東甲信越大学体育大会 | 個人優勝 個人準優勝 団体戦準優勝 | 毛綱康三 山城裕徳 山城・毛綱・尾間・清水・菅原・崎守・園智・船見 | ・2014年第62回全日本剣道選手権大会は、43年ぶり現役大学生の竹ノ内選手が優勝 ・第7回全日本実業団剣道大会は、東洋水産(本社)が優勝 | 第62回 | 竹ノ内 裕也 | ・衆議院選挙が行われ第2次安倍内閣が発足。。アベノミクスは政策継続となった。 ・海客が90%以上へ夏夏夏 ・予ニ全米オープン男子シングルスで錦織選手が準優勝 ・ノーベル物理学賞に青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎氏、天野氏、中村氏の3名が同時受賞。 | |
| H27 (2015) | 48周年 | 神奈川大学の40周年記念パーティーが開催され、(平成27年4月28日)18時開演(17時30分受付開始) 横浜国立大学ホール(マナーハウス南館) | 5月30~31日 OB幹事会メンバーで第4回合宿を実施。(山中 雅 マラマテロッチ) 参加者:秋田、宮部、慶原、中島、南、桐野、岩城、石川、小沢(孝)、中川 | 崎守 康 | 第60回 春季神奈川県学生剣道選手権大会 | 個人準優勝 | 崎守 康 | ・第63回全日本剣道選手権大会は、熊本県警 西村 秀久選手が初優勝 ・第97回全日本実業団剣道大会は、西日本シティ銀行(本店)が優勝 ・第16回世界剣道選手権で、日本は男女団体戦、個人戦とも優勝を飾った。 | 第63回 | 西村 秀久 | ・ノーベル医学賞に大村氏、物理学賞に梶田氏が受賞した。 ・ラグビーワールドカップ8強入りは果たせなかったが、「19杯最高の瞬間」賞にも選ばれた。 ・スペイン・バレーボール ・夏は関東豪雨で鬼怒川堤防決壊。冬は大雪となり鹿児島でも雪を観測した。 | |

